

*聖書は何のために

聖書は、確かに 2000 年から 3000 年以上前に、神様の霊(聖霊)に動かされた多くの人々によって、書き記され残されて来たが、決して古びた教えではなく、現代に生きる私たちの内面を明らかにする。また、神様が確かに存在して、どのように歴史を導いて来られたのか、多くのことを教えている。主なる神様はどうして「聖書」を私たち人類に与えて下さったのだろうか？

*聖書が書かれた目的

ヨハネの福音書 5 章 39 節に、主イエス様が語られた言葉が記録されている。「あなたがたは、聖書の中に永遠のいのちがあると思って、聖書を調べています。その聖書は、わたしについて証ししているものです。」

ここで言う「聖書」とは旧約聖書のことである。しかし、旧約聖書、(創世記から始まり、ユダヤ人の歴史や詩歌、預言書に至るまで)の何処にイエス・キリストが証しされているのか？と首をかきげたくなるのではないだろうか。ところが、神の御子イエス・キリストの言葉「聖書はわたしについて証ししている」というこの言葉を信じて、その言葉に基づいて聖書を読むならば、旧約聖書にはキリスト(メシヤ)預言がたくさんある。

新約聖書を記した弟子たちや使徒たちは、主イエス様の言葉を信じて、聖書を注意深く読んだ。そしたら確かに、自分たちが実際に共に行動して見聞きしたイエス様と、旧約聖書に予め記されていたことが、一致していることを発見して、その感動を福音書にまとめ、主イエス・キリストを堅く信じるように、強め励ます目的を持って、筆を執ったのだ。今日の箇所では、ヨハネが福音書をまとめた目的を記している。20 章 30—31 節「イエスは弟子たちの前で、ほかにも多くのしるしを行われたが、それらはこの書には書かれていない。これらのことが書かれたのは、イエスが神の子キリストであることを、あなたがたが信じるためであり、また信じて、イエスの名によっていのちを得るためである。」

ヨハネは読者に、ナザレ出身のイエスが神の御子、救い主キリストであることを信じて頂くために、キリストに結びついた新しいいのち、永遠のいのちを得て頂くために、この福音書を記したのだ、と明言している。

*信じて求めるなら

もし、皆さんの中で、聖書は開いたことがあったけれども、まだイエス・キリストに出会っていない、私のすべての罪咎を赦して下さる救い主に出会っていないと言う方がおられるならば、ぜひ、聖書をよく読んで、よく聴いて、イエス・キリストに出会い、永遠のいのちを得ていただきたい。それは、主イエス様に出会いたい、新しいいのちで生きたい、と求めることから始まる。